



題字：岩橋忍

恵生会 基本理念 「病院に関わる人すべての幸せを願う。」

平成28年度は当院で年間約160日の精神科救急当番を担当しています。新潟県の精神科救急システムでは、基本はまずかかりつけ医の対応が優先で、その次に救急当番病院ということが条件です。しかし精神科救急システムの新潟県北関域基幹病院としての役割を担うために、それ以外の日でも、また夜間だけではなく平日の急な受診、入院要請にも「可能な限り断らないで」なんとか対応しようとすることを病院全体の目標としました。そのための診療体制としては、月のうち、3、4日以上は常勤医が当直し、毎日の新患当番の医師を2人体制にしており、日中の受診相談は地域課の精神保健福祉士が対応しますが、夜間は主任、師長

当院では平成28年4月1日から精神科救急入院料病棟（いわゆるスーパー救急病棟）を開設しています。全国でも珍しい全室個室の60床の新しい病棟です。病棟としては順調に稼働しており、当初の目的であつた救急・急性期の敏感で脆弱な時期に刺激を避けて適切な休養を確保すること、その後の治療へ悪影響を与えないための人権への配慮として、プライバシーを尊重すること、部屋のやりくりを考えずに速やかに必要な入院に対処できること、などが概ね実現できていると感じています。

精神科救急の場合には、まず身体的に問題がないかをクリアしてから、ということが原則ですが、そこに苦慮することも多いように思えます。入院してから重篤な身体合併症が発見されたりするとも少なくありません。精神症状があつたりして入院が増えたことも特長かと思います。これも個室対応ができる、プライバシーが守れるこの利点からでしょう。

精神科でなかなか検査も難しいこともあるでしょう。しかし、「断らない」ことを目指しているといつても、なんでもいいというわけではなく、やはり安全でいい医療を提供するためには、これまで以上に他科との密接な連携、いわゆるGDP連携の必要性を感じています。今後とも各方面のご協力をお願いしたいと思います。



院長 後藤 雅博

救急病棟を開設して 「断らない精神科医療を目指して

す ず ら ん

第21号

平成29年1月1日
発行

医療法人 恵生会
広報委員会

〒950-3102
新潟市北区島見町
4540番地
TEL 025-255-2121㈹

お問い合わせ

南浜病院
〒950-3102
新潟市北区島見町
4540番地
TEL 025-255-2121
FAX 025-255-3532
URL www.k-seikai.jp

とよさかクリニック
〒950-3327
新潟市北区石動1-16-4
TEL 025-384-1880
FAX 025-384-1881
URL www.k-seikai.jp

が看護当直をしていていつでも相談に応じています。夜間の電話対応はかかりつけも含めると一〇〇件以上になるでしょう。

スーパー救急病棟を開始して、以前と違った点のひとつは認知症の周辺症状による入院要請が増えたことです。すでに去年の2倍くらいになつて中で問題行動が出たりということから紹介されたり、かかりつけのクリニックなどからの依頼が多いようです。そのため当院では、認知症に関しては受診、入院相談の窓口担当者を決めており、さらには認知症サポート医が3ヶ月以内で退院可能な救急病棟への入院かそれ以外の病棟か、あるいは身体管理の方が優先するかを判断しています。

されでだいぶやりやすくなりました。救急病棟が全個室のため、周辺症状の対応がしやすくなつたのも大きいと思います。もうひとつは逆に10代の中問題行動が出たりということがあります。これも個

中で問題行動が出たりということがあります。これも個

クリスマスツリー点灯式



平成28年12月6日、毎年恒例のクリスマスツリー点灯式が開催されました。前日の夜から当日の朝にかけての雷雨と強風で、無事開催できるのかどうか危ぶまれましたが、午後になると雨もやみ、パラパラと雪が舞う良い雰囲気の中、執り行うことができました。

今日は鈴木理事長サンタと後藤院長サンタの2人のサンタクロースが登場。会場の雰囲気も盛り上がります。デイケアのハンドベルグループもお揃いの衣装で、美しい演奏を披露してくれました。鈴木理事長の合図でツリーが点灯すると、青と白の電飾が一気に輝き出し、会場からは歓声と拍手が湧きあがりました。

また、今年は南病棟（精神科救急病棟）の光庭も電飾で飾られました。クリスマスまでのひと時ですが、南浜イルミネーションをお楽しみいただけたらと思います。

12月9日に、南浜病院忘年会が東映ホテルにて開催されました。今年は過去最高の136名と多くの方が参加して下さいました。今年は会長のサプライズケーキ、野球部の楽しい余興、40個以上の景品と内容が盛りだくさんでスムーズに進められたが心配もありましたが、結果時間通りに楽しい時間を過ごすことが出来たよう思います。

ご協力いただきました皆様、お力添えいただきました多くの方々に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。また来年も、引き続きご協力のほど宜しくお願い致します。

忘年会を終えて

幹事 士佐 奈都美
4階病棟



ありがとうございました

この度、表紙の文字を南浜病院デイケア暁に通所されている岩橋忍様より書いて頂きました。デイケアでは書道グループにも所属されています。有難うございました！



病院対抗フットサル大会に参加して

南病棟 鎌田 建

9月24日病院対抗フットサル大会に参加させていただきました。前回大会での結果は決勝戦PKで惜しくも負けてしまい準優勝という結果でした。前回大会時惜しいところで負けてしまったため次の大会こそは・・・と挑んだ今大会でした。

結果は6位。予選リーグの2試合は2試合とも引き分け、決勝トーナメントへはすすめませんでした。

今回の敗因として練習の調整がつかず練習時間の短さが考えられるため、大会で優勝するため練習時間を増やしていきたいです。

今年は6位と残念な結果となりましたが、清々しい汗を流すことができ、他の病院と交流の場をもつことができたことは十分な収穫だったと思います。



イブスター（一次救命）

南病棟 村山 慶太



平成28年10月5日と6日のEvening Studiesにて一次救命処置について講義をさせていただきました。計91名の職員が参加されました。一次救命処置とは心停止後の救命の基礎になります。突然の心停止は、その予防に関して重要な進歩を遂げているにもかかわらず、世界各国では依然として主要な死亡原因となっています。この内容を学ぶことによつて心停止を認識し、救急対応システムの出動を迅速に要請し、迅速かつ自信を持つて対応できるようになることを目指しています。講義では一次救命処置の中の心肺蘇生法を中心に話を進めました。

講義の中ではAHA（アメリカ心臓協会）ガイドライン2015に基づいた最新の内容をお伝えしました。ガイドラインは5年毎に改定が行われ、より効果的な一次救命処置が行われるよう、様々な基準が変更になります。現在推奨されている心臓マッサージのリズムは1分間に100～120回の速さ、深さは成人の場合は少なくとも5cmとされています。また圧迫と同様に大切なのがしっかりと胸郭を元に戻すことです。圧迫によつて全身に血液を送り、胸郭を元の高さに戻すことで、送った血液が全身から心臓に戻つてくるのです。

講義では心肺蘇生用の人形を用いて実技練習を行つていただきました。実際に行つてもらうことで心臓マッサージのリズムや深さを体で覚え、実際の場面でより効果的な心肺蘇生が行えるようになると思います。

そして大切なのは今回学んだ内容を自分のまわりの人々に伝えていくことです。一次救命処置の内容と技術を医療者だけでなく、様々な人に広めてもらいたいと思います。もし自分が心停止になつた時、自分で自分を助けることはできません。そのためにも自分のまわりの人にこの内容を知つてもうることは大切と言えるのではないでしょう。



南棟竣工記念植樹

平成28年10月21日に南棟竣工記念植樹として、鈴木会長がソメイヨシノを植えました。春にきれいな桜の花が見られるのが待ち遠しいです。



厚生労働大臣表彰を受賞

平成28年10月13日、群馬音楽センターで第64回精神保健福祉全国大会が開催され、後藤雅博院長が平成28年度精神保健福祉事業功労者として厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。



